

## 地域医療連携室だより vol.11

発行：蒲郡市民病院 地域医療連携室  
TEL 0533-66-2307 FAX 0533-66-2308

### 蒲郡市民病院歯科口腔外科のご紹介

平成 26 年 4 月からこれまで非常勤であった井上博貴歯科医師が常勤となり、現在は常勤医師 3 名体制で診療を行っています。当科は、日本口腔外科学会専門医制度認定研修施設であり、竹本 隆部長は、日本口腔外科学会専門医・指導医、阿知波基信医長、井上博貴歯科医師は、日本口腔外科学会認定医の資格を有しています。

患者数は、年々増加傾向にあり、平成 25 年度は、初診患者数 2,582 名、その内、紹介患者数 1,101 名で、紹介率 42.6%でした。入院患者数においては、手術症例の増加に伴い 276 名となりました。

歯科口腔外科の対象疾患は、有病者の抜歯、埋伏智歯（まいふくちし）抜歯、炎症性疾患、嚢胞性（のうほうせい）疾患、顎（がく）変形症、顎関節疾患、外傷、腫瘍など多岐にわたっています。なかでも、入院下での埋伏智歯一括抜歯は、近年増加傾向にあり、入院患者の約半数を占めております。この利点として、短期間入院で、静脈内鎮静法下に一回にすべての智歯抜歯を行うため、通院期間の短縮に繋がります。また、舌（ぜつ）癌や歯肉癌などの悪性腫瘍の症例も増加しています。当科の悪性腫瘍に対する治療方針は、外科的処置が中心で、進展症例においては、頸部郭清（かくせい）術を含めた拡大手術も行っています。今後は、機能温存の観点から、動注化学放射線療法も行う予定です。

特に、近年、開業歯科医の先生方との連携の下で行っている治療として、下顎前突（かがくぜんとつ）症に代表される顎変形症手術においては、矯正歯科医により術前矯正を行って頂き、その後に、当科にて、外科的顎矯正手術を行っています。また、口腔インプラント治療においては、医療連携の下、積極的に骨移植による骨造成も行っています。

このように、患者さんにとって最善の医療を提供できるよう、積極的に学会活動や論文作成も行っていきたいと考えています。

今後も、蒲郡市を中心に、周辺地域約 12 万人の歯科医療における二次医療機関として中心的役割を担えるように努力を続けていきますので、先生方におかれましては、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

文責：竹本 隆

## 平成 26 年第 2 回 ケアマネージャー交流会を開催しました

さる11月26日 水曜日14時から15時30分、当院講義室にて「平成26年度第二回ケアマネージャー交流会」が催され、院内職員17名、院外より31名の参加がありました。院外からの参加者は大部分がケアマネージャーさんですが、それ以外にも、いつもお世話になっている介護施設のかたや、訪問看護師も参加され、また市役所長寿課も参加しました。



当院での入院治療が終了した患者さんの、在宅療養生活を支えていただく皆さんと「横のつながりを大事に・顔の見える連携を」を目的として昨年度より開催し、今回で通算4回目となる交流会です。毎回前半は講義形式、後半はその講義をふまえたグループワーク形式で意見交換を行います。

今回は、看護局 高橋師長から当院の退院支援プロジェクトについて、続いて地域医療連携室 神田主任から退院計画実践フローについてお話をしました。グループワークでは、退院支援プロジェクトで検討中の、「当院からケアマネージャーさんへの情報提供の書式について」という話題を中心に意見交換がなされました。6つのグループの全てが、だんだん熱を帯びてくるのが伝わってきました。終了の合図があっても、まだまだ話し足りないという参加者もいらっしゃったようです。

来年からは、地域包括ケア病棟導入が予定されており、地域医療連携室のみならず、病院全体が在宅生活を見据えたかかわりをしていく必要があります。ケアマネージャーさんに当院の退院支援システムを理解していただくことは大変重要で、同じくケアマネージャーさんが病院に何を求めているかを知ることがよりよい退院支援につながります。これからも旬なテーマ設定を企画し、交流会を続けていきたいと思えます。

文責：地域医療連携室 MSW 木下育子

### 連携室からのご案内

市民病院では、地域の開業医の先生方とのコミュニケーションを図るため、平成27年2月5日に地域医療連携交流会を開催いたします。普段は多忙な開業医の先生や当院の医師がより近い関係になれることを期待しており、新たに赴任された医師も出席の予定をしておりますので、ぜひ出席をしていただければ幸いです。

院長以下、医師、看護師などの職員一同お待ちしております。